

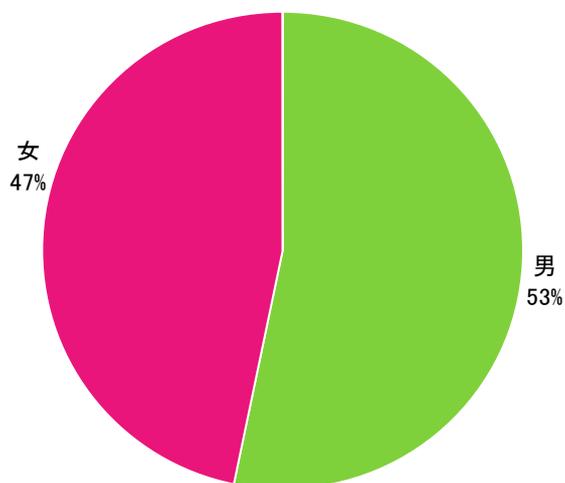
第103回 JAXA タウンミーティング in 神戸(兵庫県神戸市 2014年1月18日) 開催報告

2014年1月18日、神戸市青少年科学館のご協力により、第103回 JAXA タウンミーティング in 神戸「宇宙が子どもたちの心に火をつける」を開催し、173名の方にお越しいただきました。

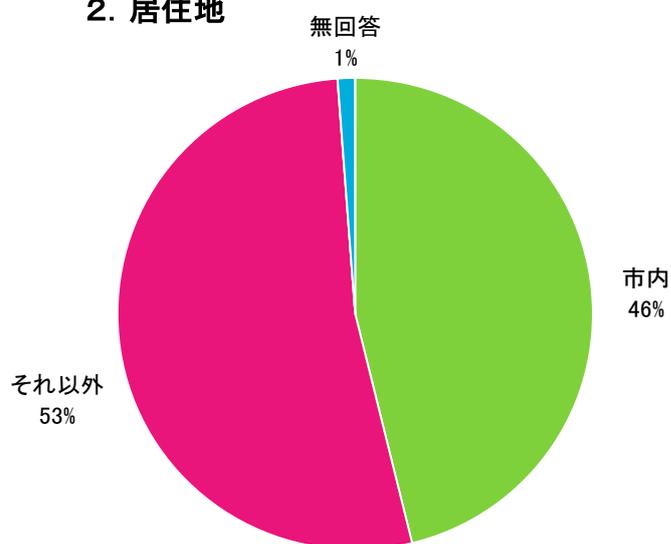
今回のタウンミーティングでは、吉川はやぶさ2ミッションマネージャと山本宇宙飛行士運用技術部長から話題提供を行い、会場の参加者と活発な意見交換がなされました。

アンケートレポート集計結果(有効回答数:169)

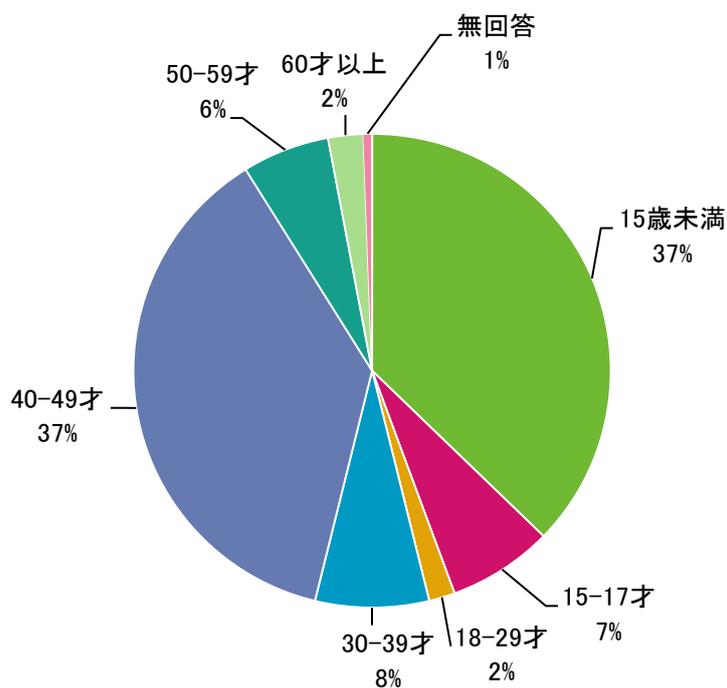
1. 性別



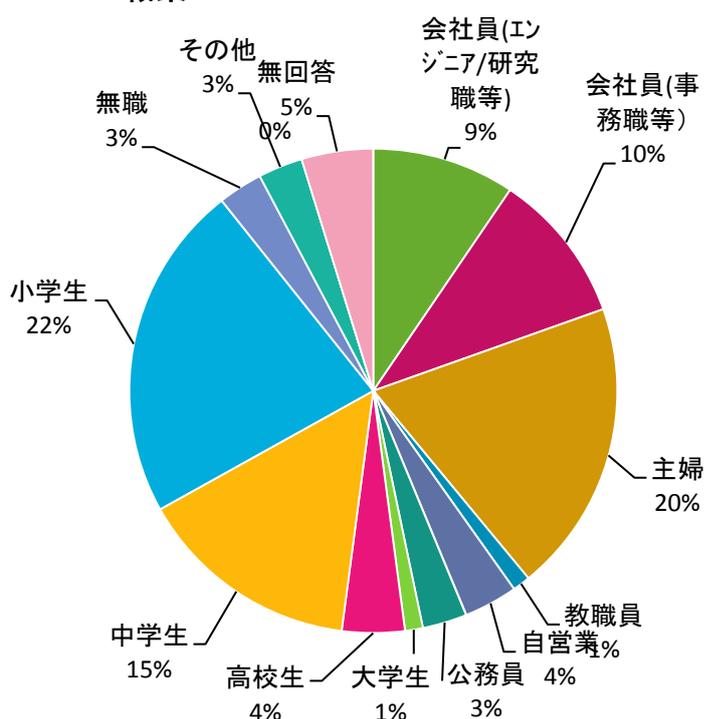
2. 居住地



3. 年齢



4. 職業



5. 今回のタウンミーティングの話題に関連して、ご意見をお聞かせください(抜粋)。

「小惑星探査への挑戦、『はやぶさ』から『はやぶさ2』へ」

- ・ 少しでもいろんなものを解明してもらって、宇宙を特別ではなく普通のものにしてもらいたい。
- ・ ぜひ「はやぶさ2」では「はやぶさ」で成し得なかった技術(ローバーの投下、弾丸発射など)だけでなく、人工クレーターの作製など新しいミッションも成功してほしい。
- ・ 「はやぶさ」でのトラブルを克服した滞りのないミッションになってほしいです。まだ探査については少ない予算ではありますが、アメリカやロシアが行わない探査を行っていただけることを期待しています。
- ・ 星のもとがわかったら、生命体についてもわかっていくのでしょうか。とても楽しみです。「はやぶさ2」のことがとてもよくわかりました。もっともっと宇宙探査について知りたくくなりました。
- ・ 「はやぶさ」の映画を見てとても感動しました。技術もちろんですが、はやぶさに関わった皆さんの熱意とあきらめない心が実を結んだのだと思いました。「はやぶさ2」へのチャレンジ、応援しています。地球誕生の謎を知りたいです。

「宇宙飛行士になるためには、どのような人材が求められているか」

- ・ 日本には技術があり、外国に引けを取るものではありません。宇宙開発に対する予算を引き上げ、世界のリーダーであるべく研究を進められる環境であることを望みます。
- ・ 求める人材育成のために今の日本の義務教育に足りないもの、必要なものがあると思います。日本の宇宙開発や技術開発が成功例ばかり報道されている気がするのですが、失敗やトラブルによる損失や原因なども一般に広めて理解を求め、日本人が得意分野で活躍できる場を広げていくことも期待しています。
- ・ 今後も有人計画の研究を進め、日本独自の技術で人間を宇宙に飛ばせる日が近い将来に訪れることを期待します。
- ・ 以前、若田さんがどのような訓練を受けているかについて知る機会がありました。体力、知力ともに優れている人でもシミュレーションをしていると注意される点もあり、色々な人がいる中で、それぞれの考えを受け止め、分かり合う努力のできる人なんだと改めて思いました。そのような人材の育成を頑張ってください。

6. 自由記述(抜粋)

タウンミーティングに関する記述

- ・ 関西でのイベントを増やしてほしいです。USTREAMなどで他の地域のタウンミーティングも見たいですし、Twitterで参加したいです。もっとJAXAのロゴを露出していったほうが良いと思います。名前を出すことで知られることが大切だと思います。
- ・ 関西地区では子供はJAXA施設の一般公開になかなか参加できないので、3D映像などで疑似体験できるイベントをしてほしいです。3Dメガネ代やワークショップ代など入場料をとっても良いと思います。
- ・ 諸外国に比べてかなり少ない予算で世界と対等もしくはリードする成果を上げているということは、世界トップクラスの人材が集まって活動されていると思います。今後、もっと技術を発展し、色々な研究を進めるために必要な予算や人材を確保する、そのために成果を上げなければならないこの状況はスタッフのやりがいだけで継続していけるのでしょうか。子供たちに宇宙の可能性に気付ける力、世界とのコミュニケーションをとり協力し、戦っていく力をつけるために何が必要なのか、今までの広報活動以上に活動を広めてほしいと思います。
- ・ 視覚的に学べる機会(場)を増やしていただきたいです。幼稚園の子供でも写真やイラストであれば興味を持って宇宙に近づけると思います。動画など小1・年中の子供たちはイプシロン発射の特別番組やニュースにかじりついてみていました。イトカワの縮小模型は面白かったです。